

子ども・子育てに関するアンケート調査

【集計結果速報値】

(抜粋版)

平成26年2月4日

調査結果の概要

調査の目的

本調査は、「四日市市子ども・子育て支援事業計画」の策定に向けた基礎資料とすることを目的として、就学前児童（0～5歳児）及び小学校児童（1～6年生）の保護者の教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために実施しました。

調査の方法

調査対象地域	四日市市全域
調査対象者	対象年齢児童のいる保護者
調査期間	平成25年11月～12月
調査方法	郵送による配布・回収

回収状況

	配布数	回収数	回収率
就学前児童調査	3,000	1,920	64.0%
小学校児童調査	1,300	799	61.5%

注意事項

集計は、すべてパーセントで示しましたが、小数点第2位で四捨五入しているため、パーセントの合計が100.0%にならない場合もあります。

複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため合計が100.0%をこえる場合があります。

グラフ及び表のN数（number of case）は、「無回答」や「不明」を除く有効回答数（集計対象者総数）を表しております。

調査の内容

調査項目	就学前児童用	小学校児童用
1 お住まいの地域	問 1	問 1
2 子どもと家族の状況	問 2～6	問 2～6
3 子どもの育ちをめぐる環境	問 7～7-②	問 7～7-②
4 保護者の就労状況	問 8～15-①	問 8～15-①
5 定期的な教育・保育事業の利用状況と利用希望	問 16～18	
6 土曜・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望	問 19～20	問 19～20
7 子どもの病気の際の対応	問 21～21-③	問 21～21-③
8 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用状況	問 22～24-①	問 22～22-②
9 小学校就学後の放課後の過ごし方	問 25	問 16～20
10 子育て支援事業の利用状況と利用希望	問 26～27	
11 育児休業など職場の両立支援制度	問 28～29-④	
12 子育て全般	問 30～34	問 23～31

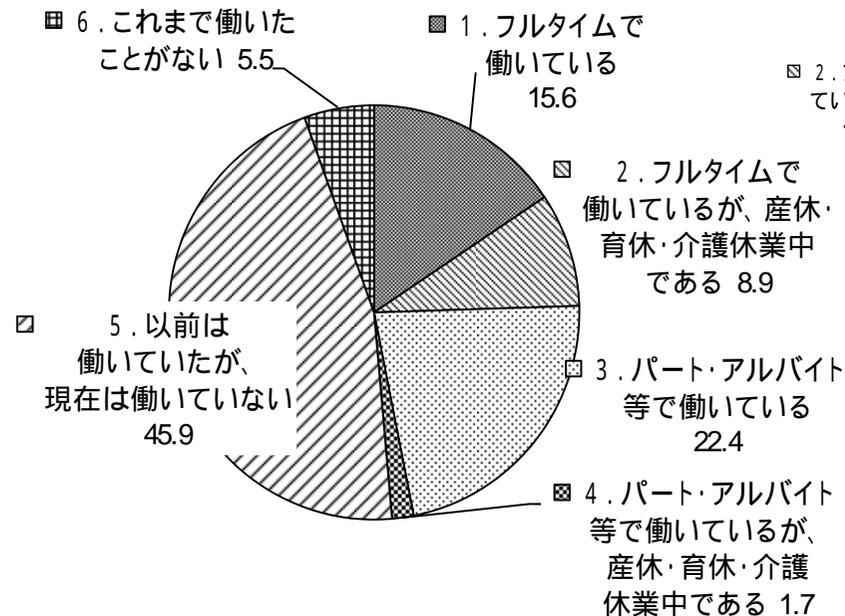
就学前児童

就学前 / 母親の就労状況

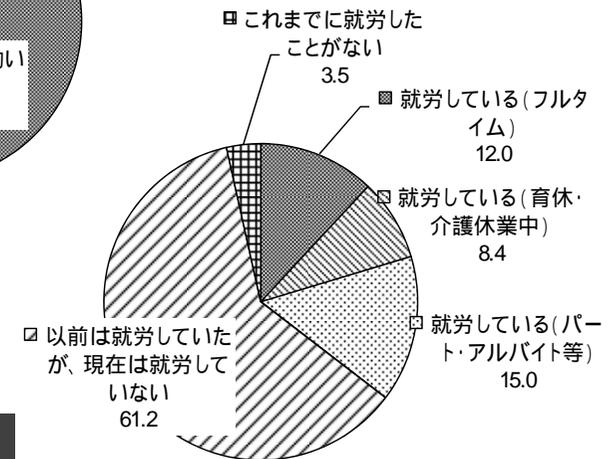
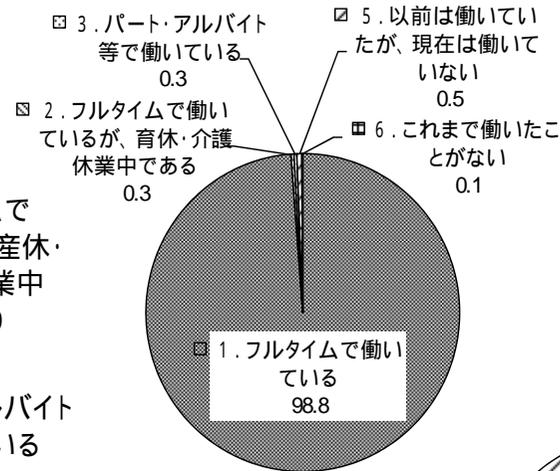
問 8

就学前児童の母親の就労状況（育休を含む）は、「フルタイム」が約25%、「パート・アルバイト等」が約25%、「働いていない（無業）」が約50%であり、働いていない人が半数を占める結果となっています。

母親の就労状況



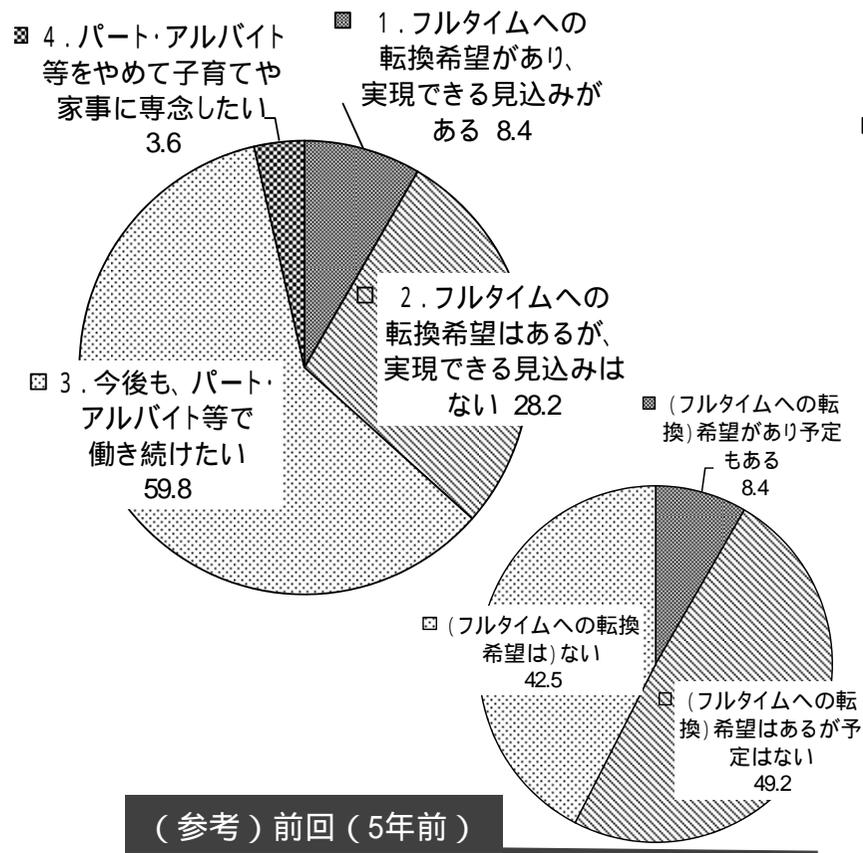
(参考) 父親の就労状況



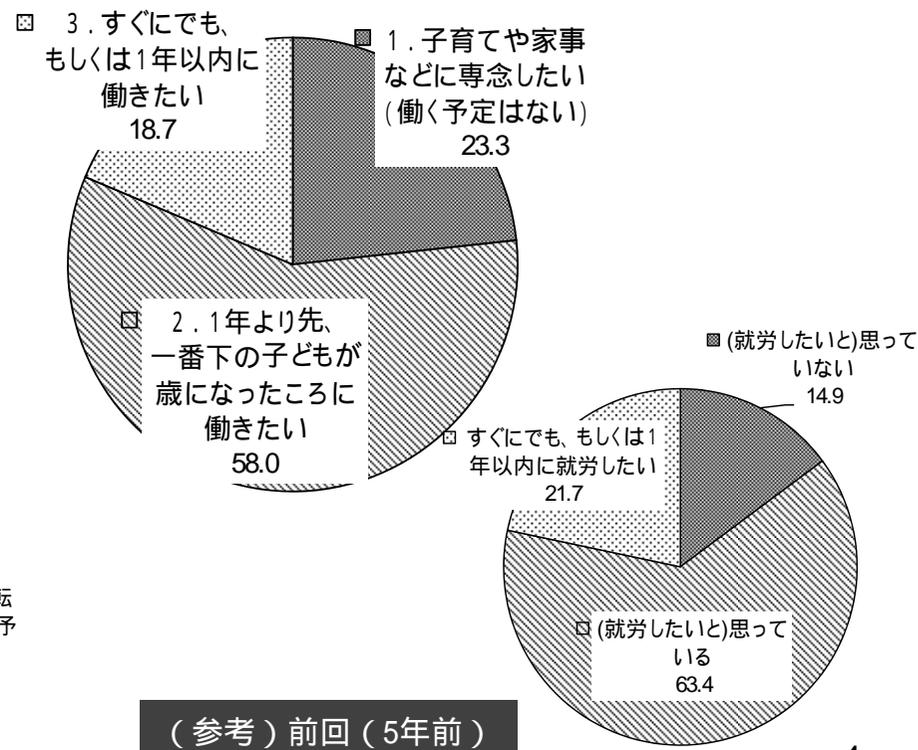
(参考) 前回(5年前)の「母親の就労状況」

就学前児童の母親の希望は、「パート・アルバイト等」から「フルタイム」への転換希望が30%以上、「無業」の人で「働きたい」という希望が70%以上に上り、多数の人がより一層の就労希望を持っています。

「フルタイム」への転換希望



「働きたい」という希望

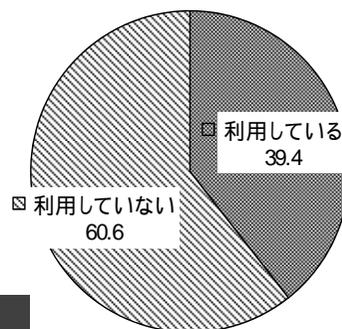
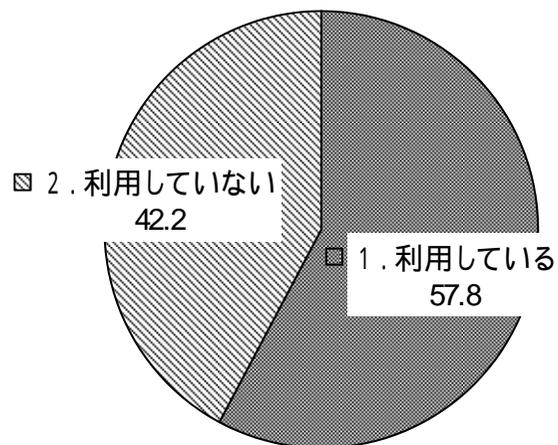


就学前 / 教育・保育事業の利用状況

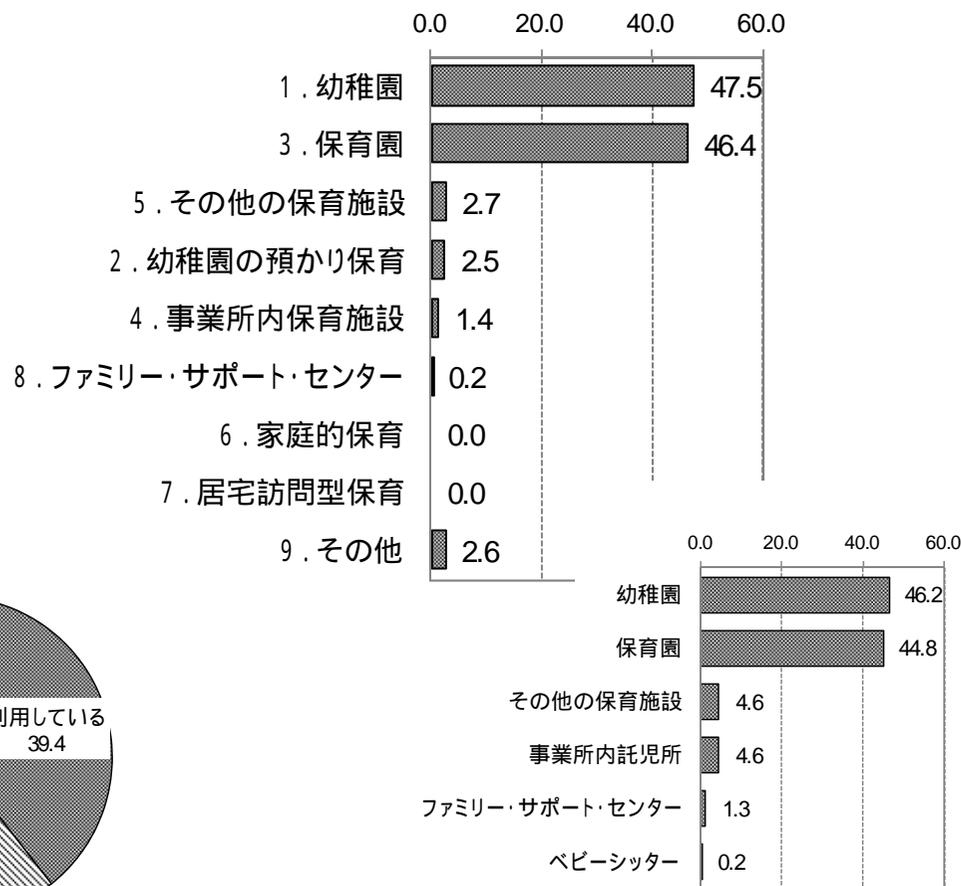
問16、問16 -

現在の「定期的な教育・保育事業」については、約6割の人が利用しており、そのうち、幼稚園、保育園がともに50%弱で、ほぼ同率です。その他の事業については、いずれもわずかとなっています。

教育・保育事業の利用状況



(参考) 前回 (5年前)



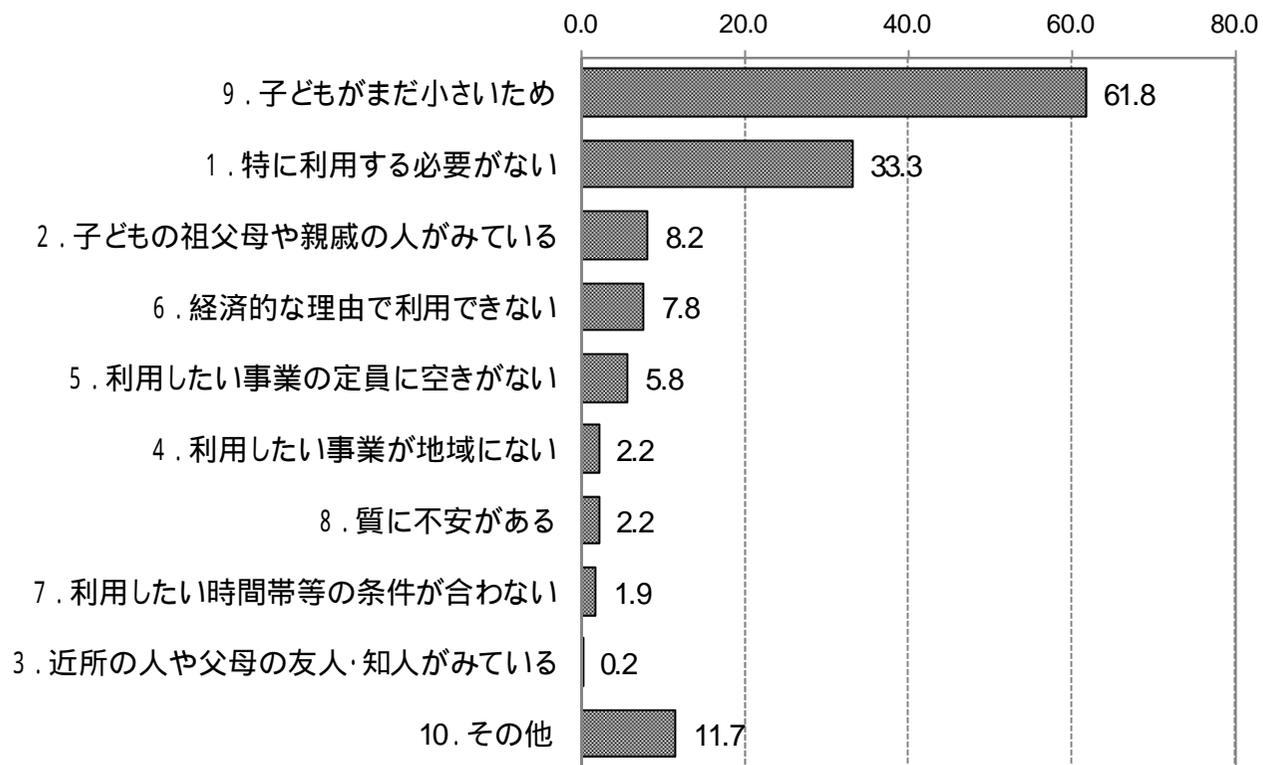
(参考) 前回 (5年前)

就学前 / 教育・保育事業を利用していない理由

問16 -

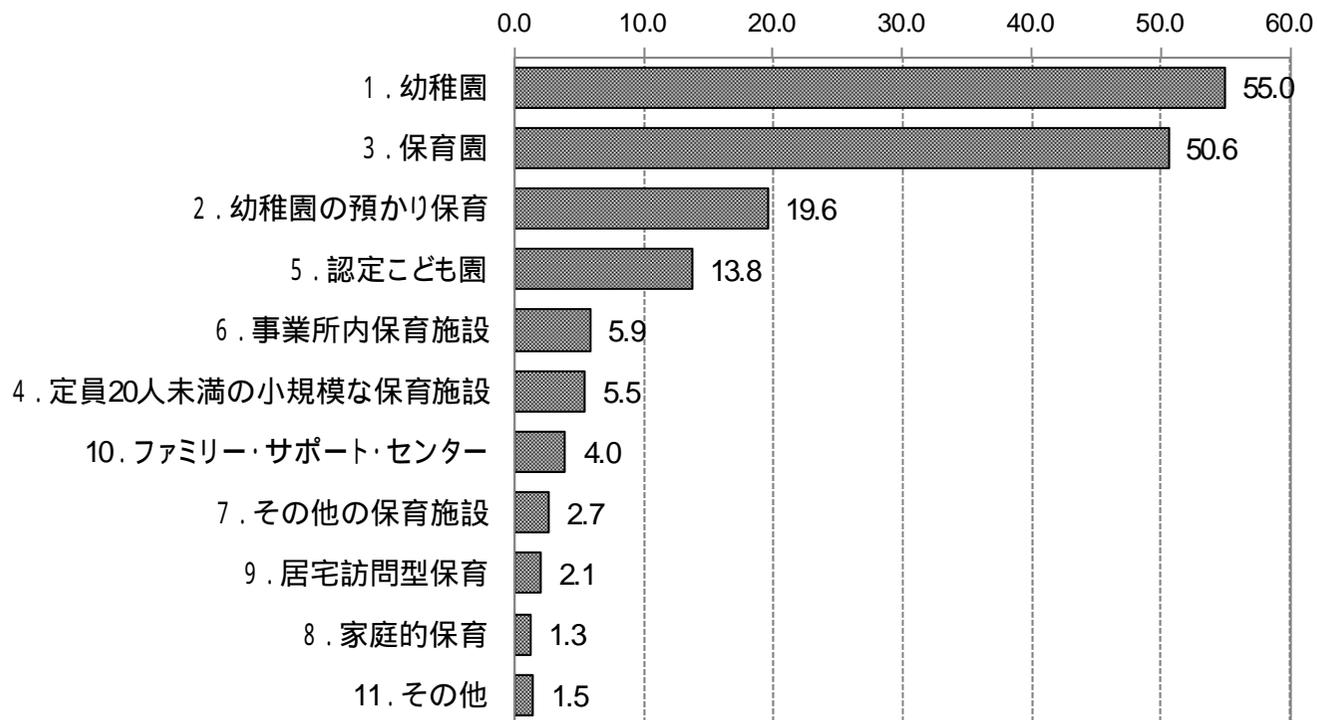
利用していない理由の多くは「子どもがまだ小さいため」であり、6割以上に上りますが、10%未満ながら「経済的な理由で利用できない」や「定員に空きがない」などが見られます。

教育・保育事業を利用していない理由



今後の「定期的な教育・保育事業」の利用意向は、現在も利用が多い幼稚園が55%、保育園が約50%と多い状況です。現在の利用状況に比べると、幼稚園の預かり保育や認定こども園の利用意向が多いと言えます。

教育・保育事業の利用希望

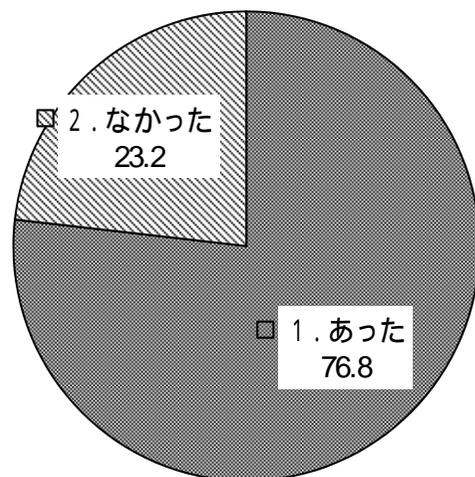


就学前 / 病児・病後児保育に関する状況・希望

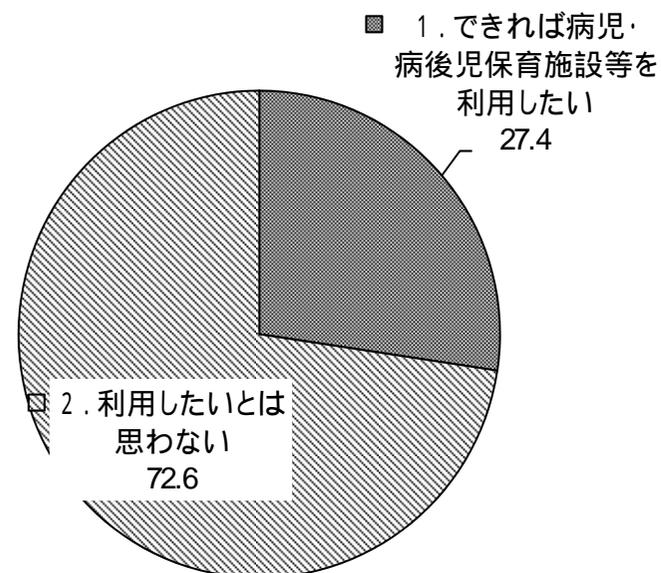
問21、21 -

ふだんの「定期的な教育・保育事業」を休まなければならなかったことがある人が8割弱を占めます。また、親が仕事を休んで対応した人のうち、3割弱の人が病児・病後児保育を利用したいと回答しています。

教育・保育事業を利用できなかったこと



病児・病後児保育の利用希望

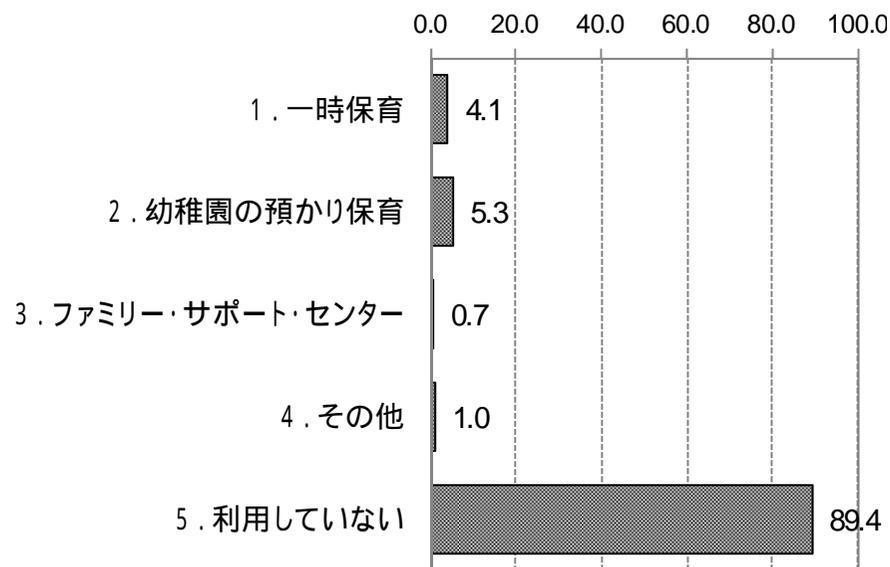


就学前 / 一時預かりに関する状況・希望

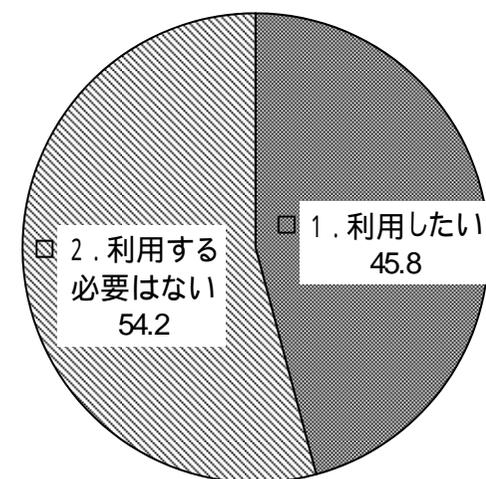
問22、23

一時預かり等の不定期の事業の利用状況は、約9割の人がいずれも利用しておらず、不定期の事業の利用はわずかな状況です。一方、今後の利用については、4割以上の人が利用を希望しています。

不定期に利用している事業

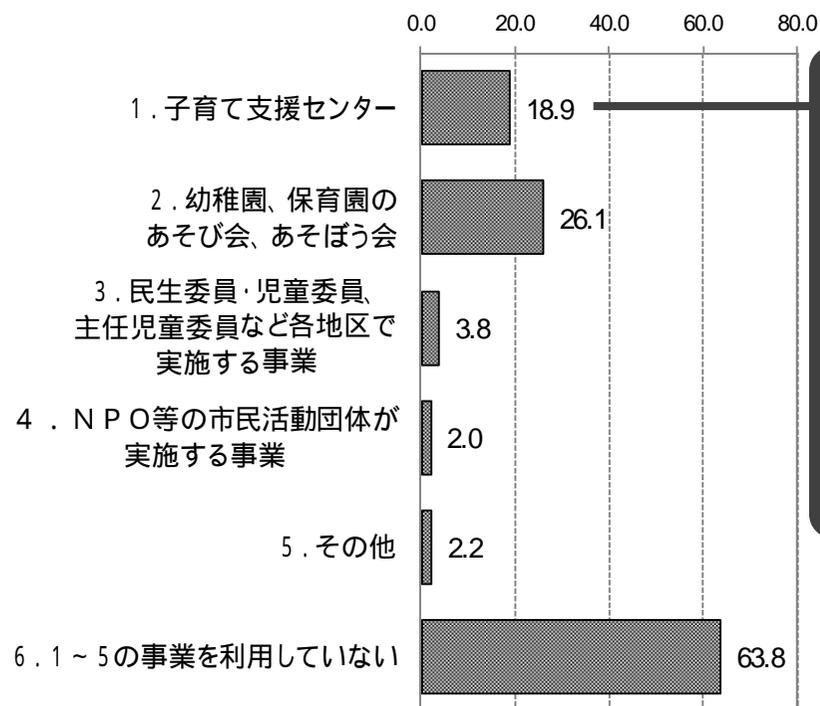


一時預かり等の利用希望



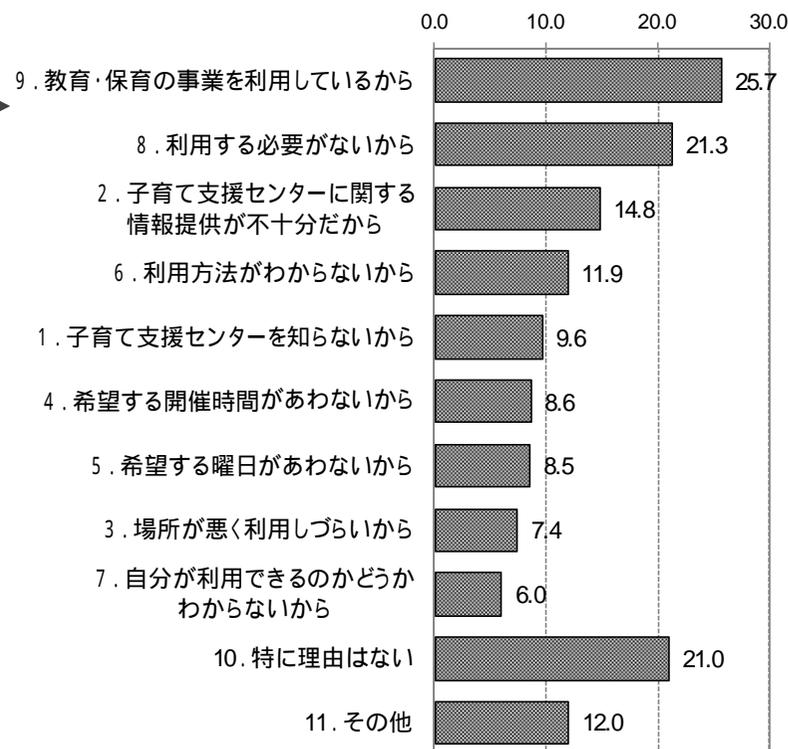
子育て支援センター等の事業については、約4割の人が利用している一方、利用していない人の理由を見ると、必要性の低い人を除くと、「情報提供が不十分」「利用方法がわからない」という人が比較的多くなっています。

子育て支援事業の利用状況



利用していない人に対して

子育て支援センターを利用していない理由

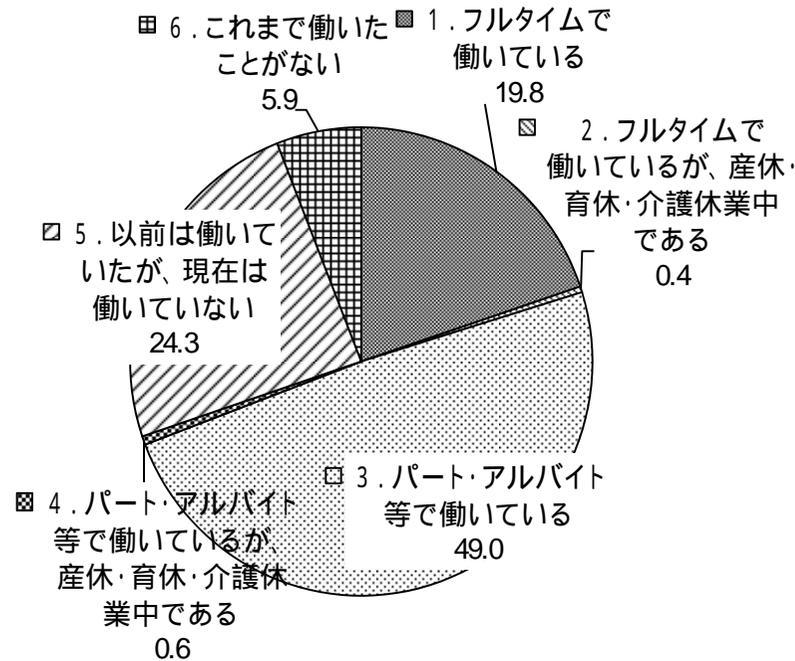


小学生 / 母親の就労状況

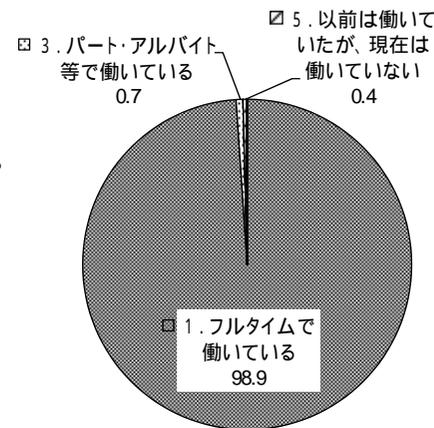
問 8

小学生の母親の就労状況（育休を含む）は、「フルタイム」が約20%、「パート・アルバイト等」が約50%、「無業」が約30%であり、就学前と比べると、無業が少なく、パート・アルバイト等で働く人が多いという状況です。

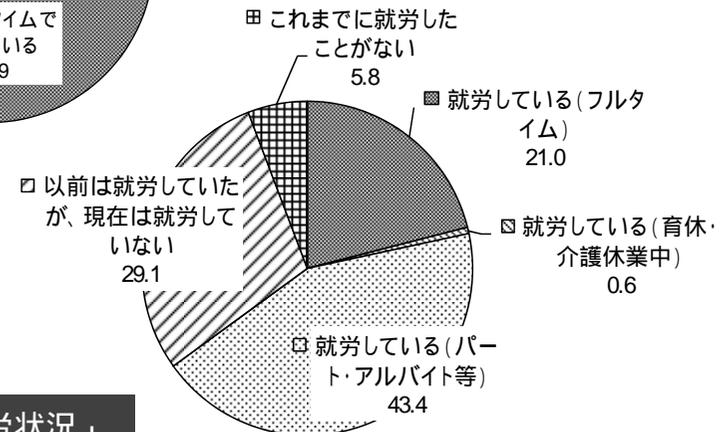
母親の就労状況



(参考) 父親の就労状況

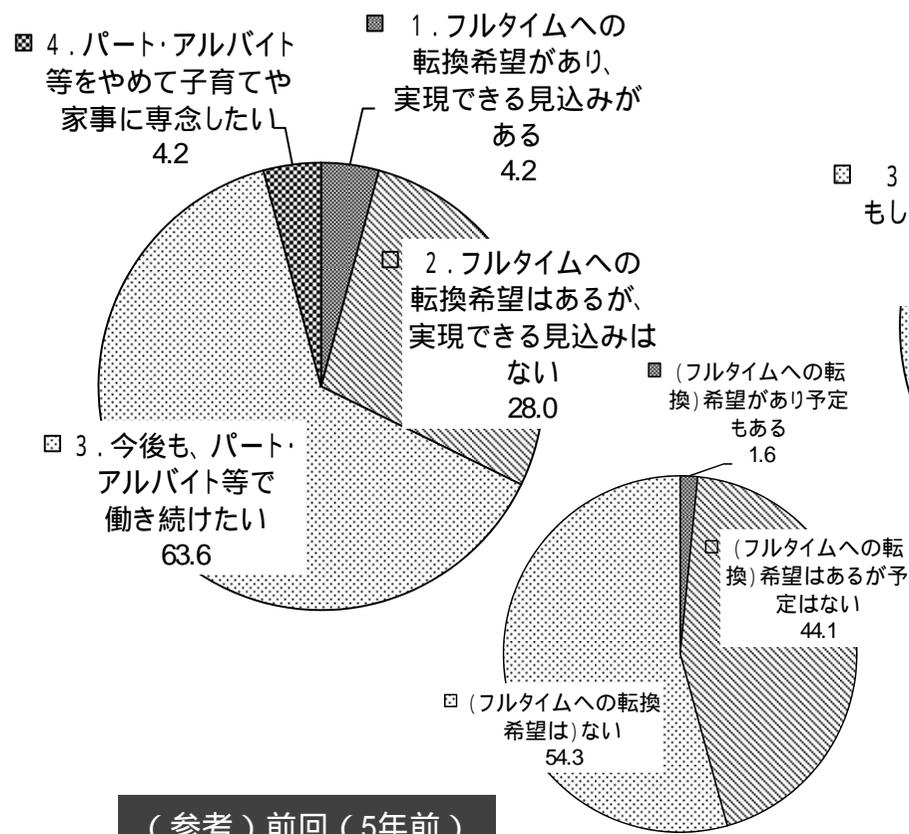


(参考) 前回 (5年前) の「母親の就労状況」



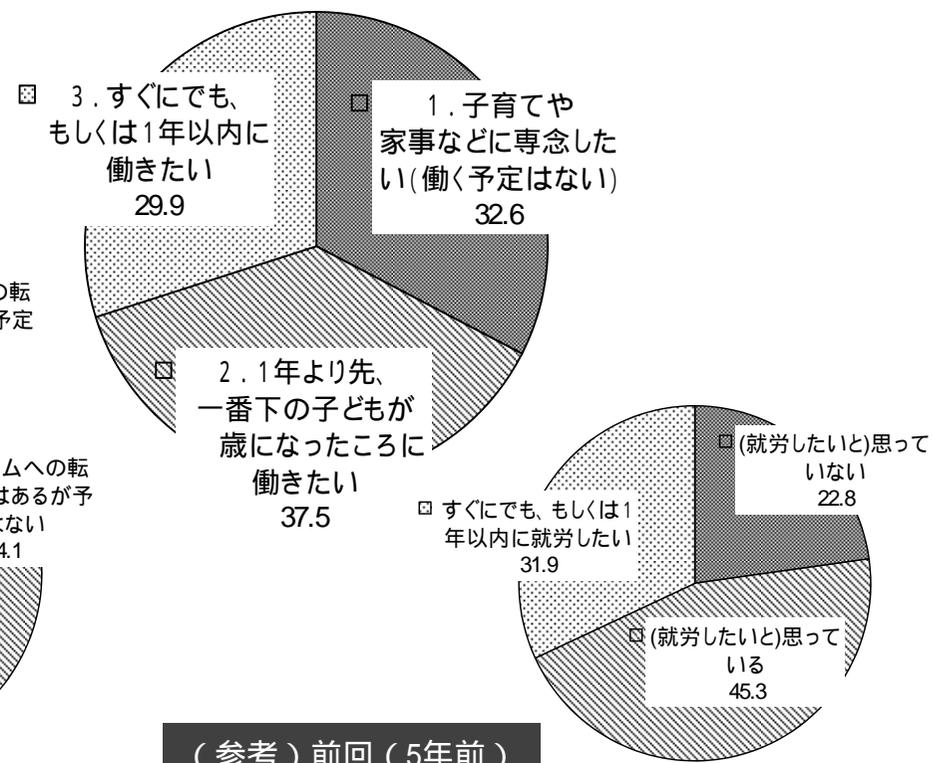
小学生の母親の希望は、「パート・アルバイト等」から「フルタイム」への転換希望が3割強、「無業」の人で「働きたい」という希望が7割弱であり、就学前よりも若干少ないものの、多数の人がより一層の就労希望を持っています。

「フルタイム」への転換希望



(参考) 前回 (5年前)

「働きたい」という希望



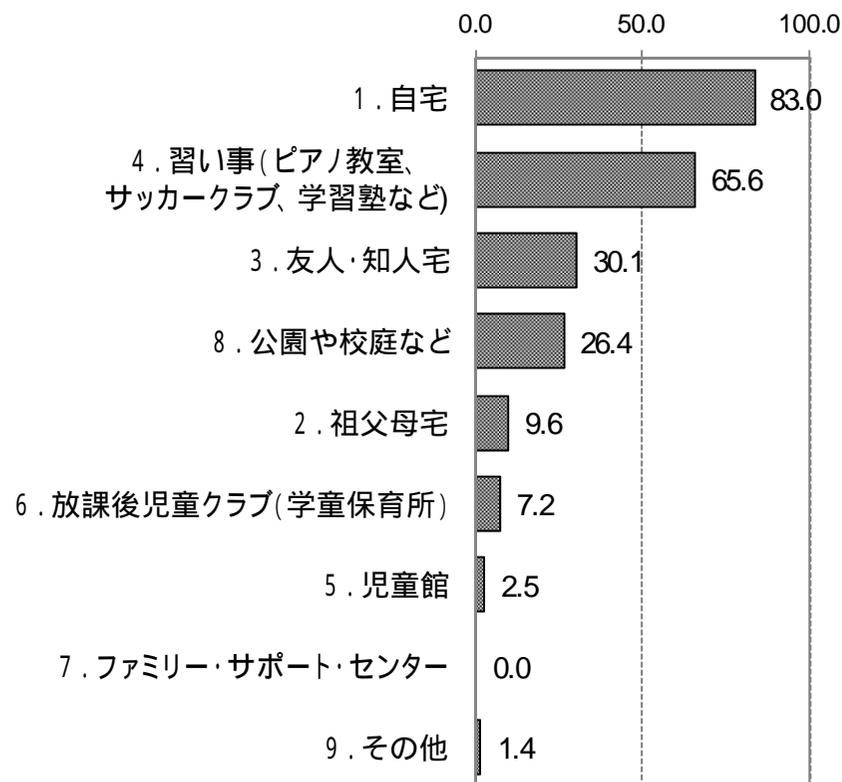
(参考) 前回 (5年前)

小学生 / 放課後児童クラブの利用状況

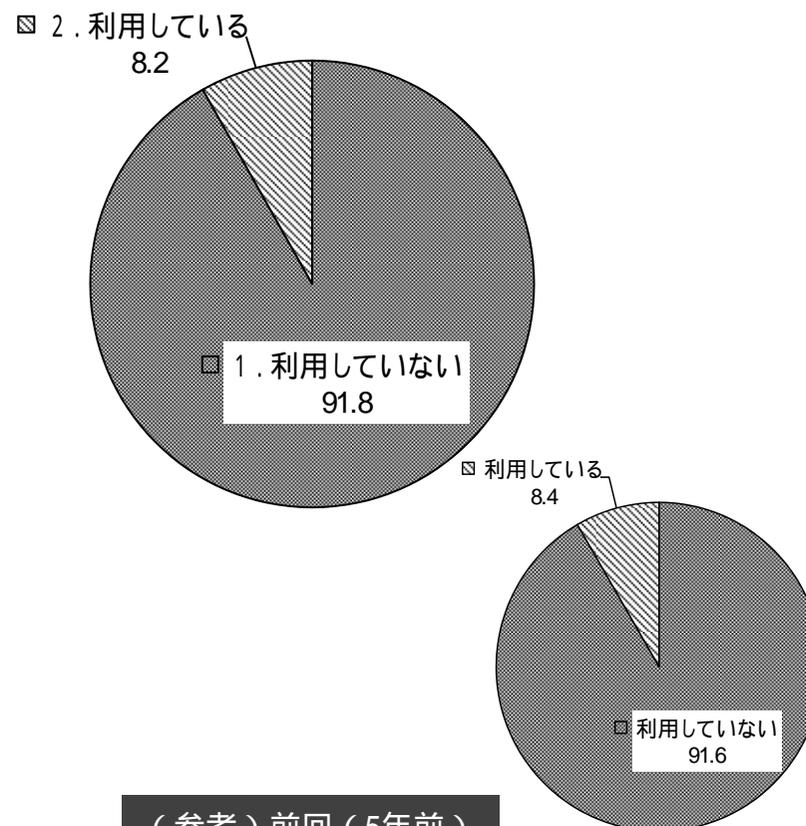
問16・17

小学生の放課後の過ごし方は、多くの子どもが「自宅」のほか「習い事」にかよっている一方、平日の放課後に「放課後児童クラブ（学童保育所）」を利用している子どもは1割未満となっています。

放課後の過ごし方



放課後児童クラブの利用状況



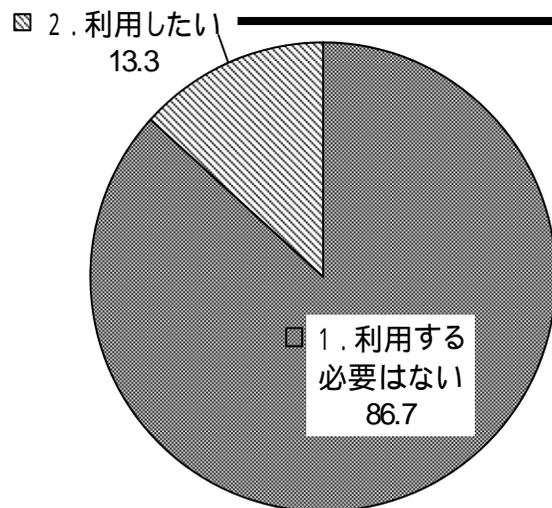
(参考) 前回(5年前)

小学生 / 放課後児童クラブの利用希望

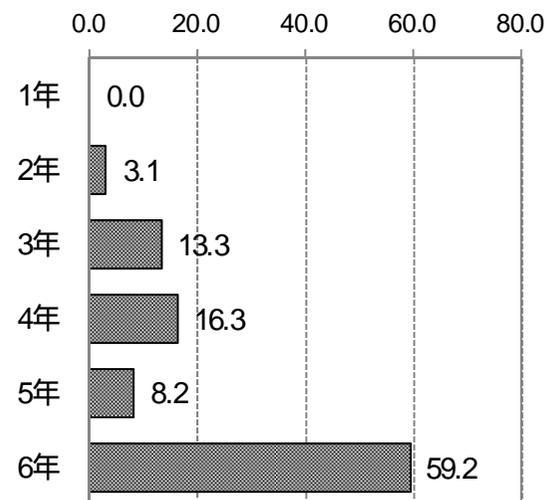
問20

今後の平日の放課後の「放課後児童クラブ（学童保育所）」の利用については、現状より5%ほど多い約13%が利用意向を持っています。利用したい学年については、6年生まで利用したい人が約6割に上ります。

放課後児童クラブの利用希望



利用を希望する学年（年まで）

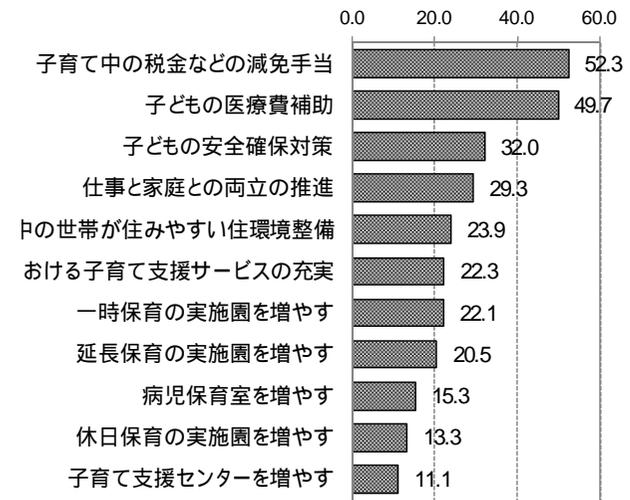
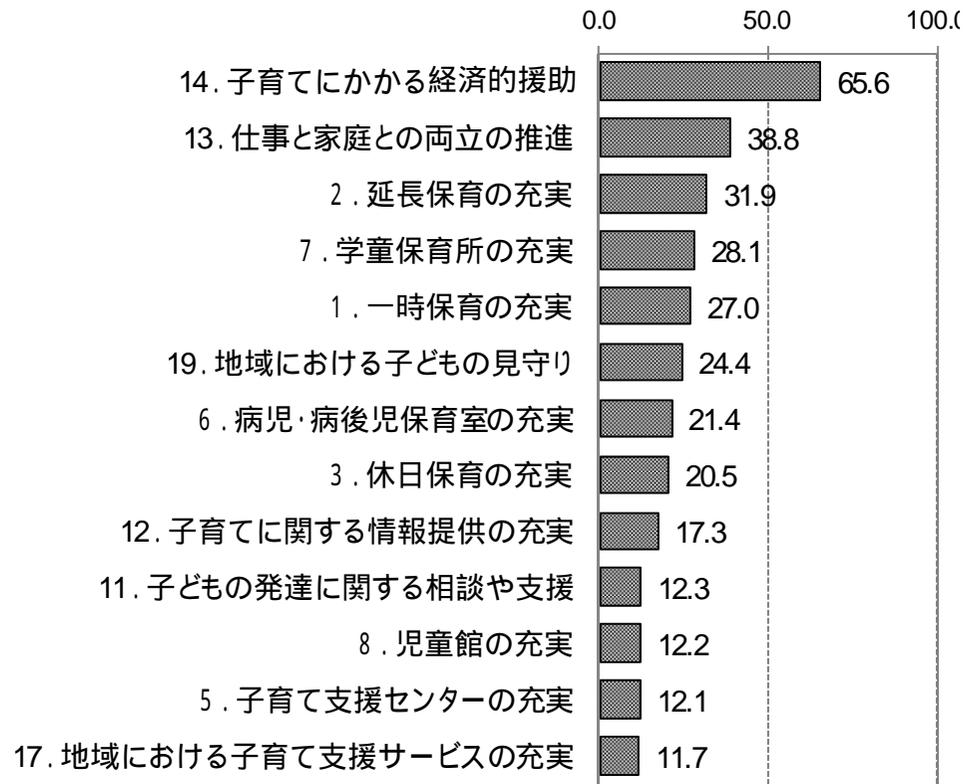


共通 / 市に期待する施策

就学前問30・小学生問28

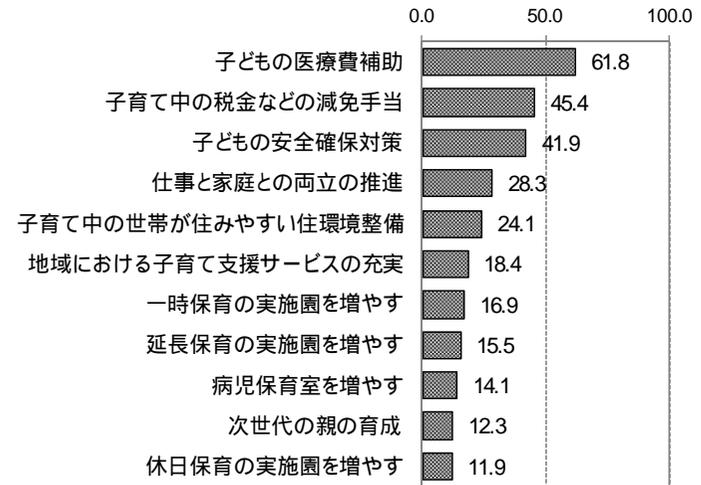
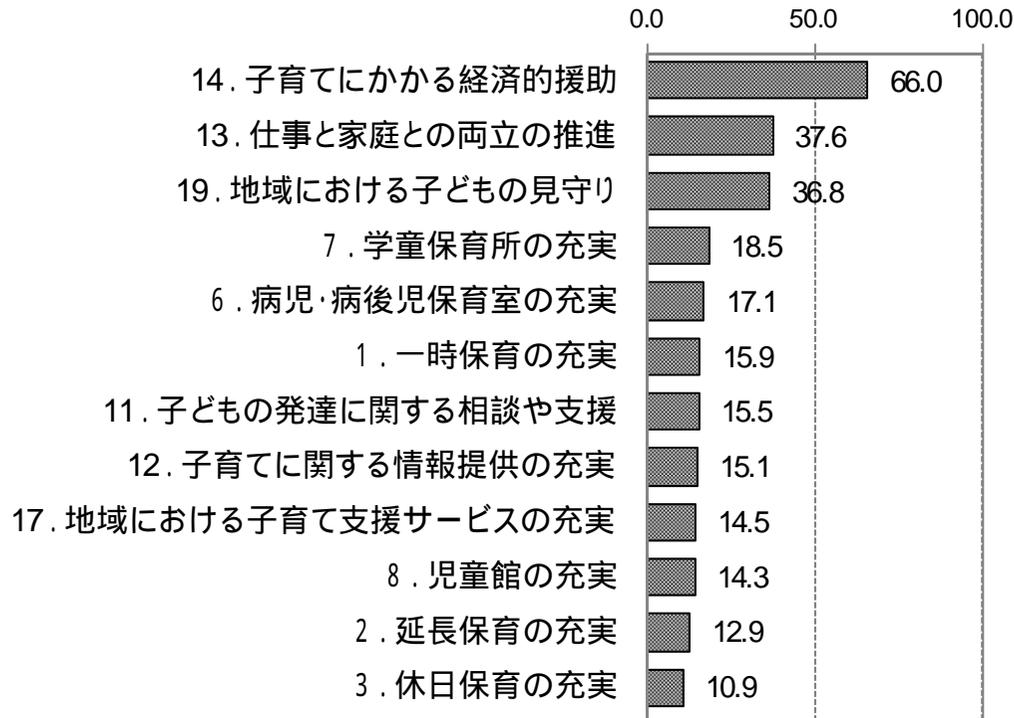
市に期待する施策としては、就学前、小学生とも、「経済的援助」が6割以上に上り、「仕事と家庭の両立」も4割弱となっています。その他、就学前では「保育事業」が、小学生では「見守り」が求められています。

市に期待する施策（就学前・上位）



(参考) 前回 (5年前)

市に期待する施策（小学生・上位）



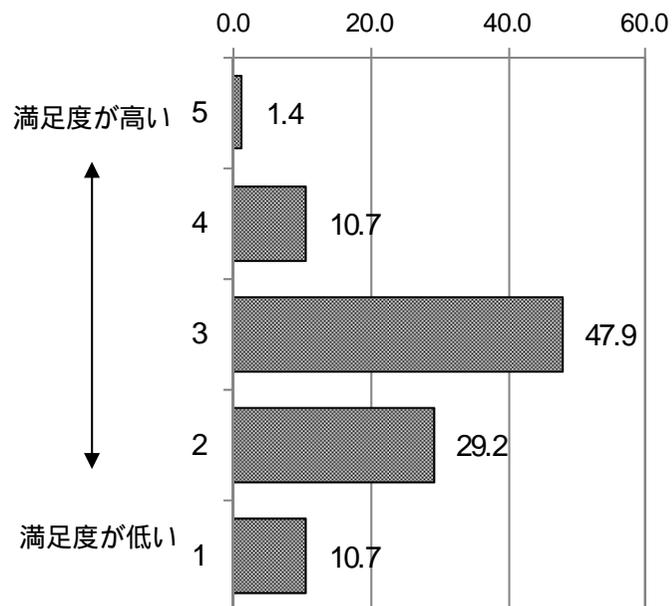
（参考）前回（5年前）

共通 / 子育ての環境や支援への満足度

就学前問33・小学生問30

四日市市における子育ての環境や支援への満足度については、「2点」～「3点」が多く、平均点も就学前が2.63点、小学生が2.55点という結果でした。

満足度（就学前）



満足度（小学生）

